

# 会 議 録

会議の名称	令和3年度 第2回中野市・山ノ内町地域公共交通対策協議会総会
日 時	令和4年3月23日(水) 10:00~11:08
会 場	中野市役所 会議室 41・42・43
出席者等	<p>出席委員：21名(うち代理出席3名)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・中野市 副市長 竹内 敏昭(会長)</li><li>・山ノ内町 副町長 増田 隆志(副会長)</li><li>・東日本旅客鉄道(株)長野支社 企画室副課長 篠原 一弘(代理)</li><li>・長野電鉄(株) 運輸課長補佐兼運転係長 岡部 公平</li><li>・長電バス(株) 乗合バス部部长 鈴木 立彦</li><li>・中野ハイヤー(株) 専務取締役 石渡 陸夫</li><li>・長電タクシー(株) 湯田中営業所長 蟻川 淳一(代理)</li><li>・北陸信越運輸局長野運輸支局 主席運輸企画専門官 高澤 陽</li><li>・北信地域振興局 企画振興課長 北澤 良和</li><li>・北信建設事務所 中野事務所 管理係長 片野 こずえ(代理)</li><li>・中野警察署 交通課長 江本 幹保</li><li>・山ノ内町交番 所長 山崎 賢二</li><li>・中野市区長会 会長 佐藤 彰芳</li><li>・山ノ内町区長会 会長 山田 進治郎</li><li>・山ノ内町商工会 会長 田中 篤</li><li>・中野市社会福祉協議会 会長 渡辺 重雄</li><li>・山ノ内町社会福祉協議会 事務局長 鈴木 浩史</li><li>・中高交通安全協会 会長 竹内 敬三</li><li>・山ノ内町観光連盟 会長 金子 博之</li><li>・公募委員 浅野 一彦</li><li>・公募委員 松本 百合子</li></ul> <p>欠席委員：4名</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・長野工業高等専門学校環境都市工学科 教授 柳澤 吉保</li><li>・信州中野商工会議所 専務理事 池田 喜芳</li><li>・長野電鉄労働組合 副執行委員長 嶋倉 仁</li><li>・公募委員 平野 正隆</li></ul> <p>事務局：5名</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・中野市総務部 部長 酒井 久(幹事)</li><li>・中野市総務部政策情報課 課長 阿藤 博之(事務局長)</li><li>・山ノ内町総務課 課長 小林 広行(副事務局長)</li><li>・中野市総務部政策情報課 課長補佐 大沢 英樹</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山ノ内町総務課企画係長 望月 弘樹</li> <li>・中野市総務部政策情報課 久保田 恭平</li> <li>・山ノ内町総務課企画係 新井 宥佑</li> </ul> <p>委託事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)地域総合計画 2名</li> </ul> <p>報道機関：2名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ北信</li> <li>・北信ローカル</li> </ul> <p>傍聴：2名</p>
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開 会</li> <li>2 あいさつ</li> <li>3 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) (仮) 中野市・山ノ内町地域公共交通計画策定に係る地域公共交通の基本方針と目標について</li> <li>(2) その他</li> </ul> </li> <li>4 その他</li> <li>5 閉会</li> </ol>
資料	・次第、議事・資料、名簿
発言内容	・別紙のとおり
内容要旨	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会 進行 : 酒井総務部長 (幹事)</li> <li>2 あいさつ 会長 : 中野市 竹内副市長 副会長 : 山ノ内町 増田副町長</li> </ol> <p>〈各委員の自己紹介〉</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) (仮) 中野市・山ノ内町地域公共交通計画策定に係る地域公共交通の基本方針と目標について</li> </ul> </li> </ol> <p>・議事資料について説明 (大沢課長補佐) (株)地域総合計画)</p> <p>●意見交換</p> <p><b>公募委員 浅野 一彦</b></p> <p>・資料 46 ページの上部のまとめ方について、まとめ方が間違っているわけではないが、行政負担を下げたほうが良いというまとめ方をされている。しかし逆に言うと、多くても構わないという意見も 40%近くありほとんど変わらないのに、あえて、少なくしたほうを含めた意見が 4 割あるという書き方では、議論を誘導しようとしているように感じてしまう。</p> <p>・また、調査に関して、市の職員は忙しいと思うが、今の説明も業者にやっ</p>

っている。細かいところは業者がやればよいとは思いますが、市職員のこの業務に携わっている人間としての考えが見えてこない。公共交通の担当として、特別な日だけでなく、日頃から通勤等で公共交通を利用しないと実態がわからないのではないかと思います。数字だけで議論されても困る。車に乗れない人は、公共交通機関が命の次に大事だということを理解して業務にあたってほしい。

**事務局長 阿藤 博之**

- ・資料のまとめ方については、事務局でももう一度考えたい。
- ・行政のかかわりについては、基礎調査や資料のまとめについては業者に委託したが、新しい公共交通の体系や提案についても期待して委託している。

ただ、私どもも公共交通の維持、促進ということについては、真剣に考えており、楽ちんバスやふれあいバスといった取り組みを行っているが、どんどん新しいものなりあらゆるものにチャレンジして行動し検証し見直すということを考えていきたいと思っている。

**公募委員 浅野 一彦**

- ・私は中野市の北部のほうに住んでいるので、飯山市との関係も考えていただきたい。飯山市を中心とした区域の計画と中野市の計画と二つに入ることが法的に可能なのか。よく、信越自然郷といったようなエリア分けが可能だと考えているので、教えていただきたい。
- ・市の職員の公共交通利用を促進すると記載があるので期待している。

**事務局長 阿藤 博之**

- ・飯山市の関係については、飯山市と協議をさせていただいた中で、見送ることとした経過となっている。
- ・職員利用については、積極的に呼びかけをしていく。

**長電バス(株) 鈴木 立彦**

- ・62 ページに、前回計画の公共交通の機能分類の表があり、再編しているので現状とは変わってきているが、幹線公共交通軸ということで、地域間幹線の路線名が上がっている。このうち地域間幹線として、長電バスが国庫補助、県補助、市町村補助を受けて運行しているものとして、永田線、上林線、中野・木島線が残っている。ただ、これらの3路線に関しても、現在、利用が減ってきており国庫補助の基準の利用人数に対してギリギリであったり、下回っているものもある。現在は、コロナの影響もあるため、基準の人数をクリアしていない路線についても国庫補助が出るため路線の維持ができていますが、そういった措置がなくなった場合のことを考えていけないといけない。国庫補助がなくなってしまうと、今までどおりの運行をすればしたら、市町村からの補助のみで運行しなければいけなくなり、財政負担について、現状維持ではいけなくなるおそれがある。この赤字路線の件については、何十年とどうやって維持していくかということを検討してはいるが、そういった検討を

<p>内容要旨</p>	<p>しながらも、利用者は減り続けている。そういった状況を理解いただき、それに伴っての財政負担は、増えることはあれど減ることは非常に難しいと感じている。</p>
	<p><b>事務局長 阿藤 博之</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域間幹線系統の利用者数について、今ご意見いただいたように、切実な状況になってきている。もちろん国、県からの補助といった支援がない限り、市、町のみでの支援だけでは厳しいという中で、特に重要な点だと考えているということで、この点については皆様と一緒に真剣に考えていきたいと考えているため、引き続きよろしくお願ひしたい。</li> </ul>
	<p><b>公募委員 松本 百合子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は山ノ内町の北部に住んでおり、須賀川線がなくなって楽ちんバスを利用している。私の生活は買い物や病院も中野市である。今のところは車を運転できているが、免許を返納することになれば、中野市への乗り入れが非常に困難になってきている状態である。娘も仕事で中野市に出ており、須賀川線があるときは一本で出られていたが、今は、夜間瀬で電鉄へ乗り換えている状況である。この中野市と山ノ内町の会議がもたれることになり、山ノ内町から中野市への乗り入れができるようになることを非常に期待している。</li> </ul>
	<p><b>事務局長 阿藤 博之</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほどから、財政負担の話が出ており、財政に限りがあることは皆様にご理解いただいていると思うが、とにかく、持続可能な交通手段の観点からあらゆる角度で検討していきたいと考えている。</li> </ul>
	<p><b>中野ハイヤー(株) 石渡 陸夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシーについて、実態調査やアンケートでもあまり触れられていない。実際、24時間全て稼働しているのはタクシーだけであり、このコロナ禍の厳しい中でも、タクシーは24時間住民のために運行している。そこで、これからアンケートだけではなく、実際、タクシーが現実によどのように動いているかということをお互いに調査して、地域の公共交通の役に立てるようにしていきたいと考えている。</li> </ul>
<p><b>事務局長 阿藤 博之</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の足を支える電車、路線バス、タクシーの安定運行の継続について、今回、目的にも明記させていただいた。幹事会からもご指摘、ご要望いただいている中で、タクシー業者のご理解をいただきながら、現状をしっかりとらえて、皆さんに承知をしていただいて、取り組んでいきたいと考えている。</li> </ul>	
<p><b>北陸信越運輸局長野運輸支局 高澤 陽</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほど、長電バスさんからも話が出ましたが、国からの幹線系統とそれにつながる支線（フィーダー系統）の補助につきましても、利用人数について、フィーダー</li> </ul>	

内容要旨

系統でいえば、1便あたり2名以上という条件があるが、コロナの関係があるため、今年度と昨年度については、下回っていても対象外とはしていない。ただ、今後どうなっていくかわからないところもあるため、それも踏まえて計画を詰めていかなければならない。昨年度に公共交通の活性化に関する法律も改正され、今言った、フィーダー関係の補助の内容も、公共交通計画に記載しなければならなくなった。計画にどう記載していくかということは、素案の段階でいいと思うが、行政負担の部分も含めて、委員の皆さんの意見を聞きながら計画に落とし込みたい。

・計画に載っているデータは、データを取った時期や、バス停、時間帯等によって変わってくるものであると思うので、継続したデータを事業者がとっているのであれば、ご協力いただきながら、計画の中の定量的な目標や数値といったところに活かしてもらえればと思う。

**事務局長 阿藤 博之**

・今後ともご指導いただきたい。

**公募委員 浅野 一彦**

・財政問題について、市だけでは大変だというのはわかるが、国や県の関連の計画も含めて、どんな方向で考えているのか教えていただきたい。

・数字が大事だということはわかるが、心のある行政というか、そういうことをやっつけていかななくてはいけないと思いますので、数字はあくまでも事実なので元にしませけれど、やはり公共交通に対するマインドというものがないと、いい政策はできていかないと考えているので今後もお願いしたい。

**北陸信越運輸局長野運輸支局 高澤 陽**

・必要などころには必要な経費をかけるものである。ただ、利用者がいないからと言ってやめていいのかということは議論がある。存続させるためにうまくやっている他地域の事例等もあるので、そういった事例がこの地域ではどう活かせるかといったところは、この協議会の中で議論していく必要がある。また、国の支援は要件があったり使いづらかったりする部分もあると思うので、まずは、私のほうへ相談いただければと思う。

**北信地域振興局 北澤 良和**

・今回は、中野市と山ノ内町で計画の策定をされているが、同様の形で県でも地域公共交通計画を、全県のもの、北信地域等の広域でのものを作る予定である。その中で、幹線系統について、先ほども出た飯山市の部分を含めて、北信というこの6市町村の部分でのものを評価を行いながら、来年度いっぱいをかけて、令和5年度からのものをどうしていくかを考えている。

**中野市 竹内会長**

・それでは、他に意見がないようであれば、協議事項(1)につきましては原案どお

<p>内容要旨</p>	<p>り承認するというので、ご異議ないでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>→<u>協議事項 (1) については原案どおり承認された。</u></p> <p>(2) その他</p> <p><b>公募委員 浅野 一彦</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この会議のまとめを後日いただきたい。</li> </ul> <p><b>事務局長 阿藤 博之</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめた議事録を皆様に送付させていただく。</li> </ul> <p>4 その他</p> <p>〈事務局〉</p> <p>○今後のスケジュール等について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画策定事業は、国の補助金を活用しているため、年度内で一旦実績をまとめる必要がある。については、本協議会后、3月末までに素々案を作成し、それを委員の皆様にお示しし、その素々案をもって本年の実績とさせていただきたいと考えている。</li> <li>・また、その素々案については、5月に開催予定の協議会にてお諮りいただきたいと考えており、その後、6月、7月に協議会を開催し、7月に計画策定となるよう、進めて参りたいと考えている。</li> </ul> <p>5 閉会</p>
-------------	--